

第 8 回 ベイタウンまつり



頭のてっぺんからつま先まで取材意欲満々のスタイルを決めているのは海浜打瀬小学校 5 年生の和田君。カメラもマニュアル式の一眼レフで少しレトロだが名器と言われたモデルだ。一枚一枚露出を計り、ピントを合わせて時間をかけ丁寧に撮っている。格好だけではないようだ。ベイタウンニュースの写真を撮ってくれるかと頼んだら、「モノクロでもいいですか?」。現像まで自分でこなすそうだ。下のモノクロ写真は彼の作品。ここまで打ち込める情熱はすばらしい。



ベイタウンニュースも
顔負けです

少年カメラマン現る



へんな外人発見

プロムナードの人ごみの中、チャリコンに乗って愛嬌をふりまきながら走る「へんな外人」を見つけた。正体の手がかりは「マリーンズ球場に来てね」と連発していたこと。早速ロッテ球場に聞いたところ、通称「Mクラッシュ」、本名はラリー・ロッカーさん。れっきとした球団職員だそう。そういえばマー君とリーちゃん、ズーちゃんも来ていた。



もつまっている。
売る側がベイタウン住人なら買う側も同じ。長々と遊び方や思い出話をしてるうちに売るのが惜しくなったり、意気投合して新しい友達ができたりする。地域限定のお祭り、ベイタウンまつりのいいところだ。
中にはこんなものかと思うようなモノも並んでいたが、結構売れるようで、一巡して来た頃にはもうなかった。今年で 4 年連続出店というツウのお父さんの話では、開店準備の品並べのときが一番売れるそうだ。

ベイタウンまつり最大の呼び物はなんと言っても「フリマ」。今年も 120 店以上が出店した。並べられているものは、子どもが小さかった頃の玩具や本、着られなくなった大人用の衣類、使われないで押入にしまわれていた贈答品など。値段は二束三文だが、商品には値段以上の思い出もつまっている。

ベイタウンまつり名物

巨大なリサイクル市?
いやいや立派な社交場



腰をおろせるころの少ないベイタウンまつりの会場では、ここの階段が格好のアルプス席だ。お昼頃にはたくさんの人が足を休めに集まってくる。

もうひとつのベイトウンまつり

5月14日、プロムナードが第8回ベイトウンまつりでにぎわっていた頃、コアのホールではもうひとつのベイトウンまつりが行われていた。お花やお茶、「わくわくお話し」などいわばベイトウンまつりの「文化版」とでもいうイベントだ。これまでもベイトウンまつりではコアホールを中心に中年バンドが演奏会を開催するなど文化イベントは行われていたが、今年はほぼ一日楽しめるほど文化イベントが連続し、ベイトウンまつりの新しい潮流とも言える様相を呈してきた。これらのイベントの中心になったのは「第一回ベイトウンのど自慢」大会。その様子取材した。

【松村】

「のど自慢 IN 幕張ベイトウン」。今までなかったことが不思議なこの企画を考えたのは本紙でもWHO'S WHO（第80号）で紹介した落合清さん。プロムナード主体のベイトウンまつりに、コアでのにぎわいも加えたいと思っていた連合会の伊藤会長から「なにか企画を」と頼まれた。まつりの1ヶ月前という準備期間もない時期だったが、二つ返事で引き受け「のど自慢」を企画した。歌の好

きな落合さんとしては一度はやってみたいイベントだったようだ。

スタッフはすぐに集まった。日頃からコアと一緒に活動する合唱団仲間や所属するシニアクラブの友人たちだ。のど自慢ではどんな曲にもすぐに合わせられる伴奏者が重要だが、これも以前からお世話になっているピアノの上田先生が快く引き受けてくれた。

問題は出場者だった。音楽好きの多いベ

イトウン、出場者には困らないだろうと募集を始めたが、意外に集まらない。本番10日前の5/4を締切に募集していたが、締め切り日に集まっていたのは8人だけ。それもほとんどが落合さん自ら声をかけて出場を「お願いした」人ばかりという状況で正直不安になってきた。カラオケ好きの話を聞けば知人を頼って声をかけ、小学校にも出場依頼に足を運び、1週間前になってようやく12人までこぎつけ、なんとか開催できる目処がついた。その後も出場希望者は増え、最終的に19人まで伸びた。

ベイトウンまつり当日の午後1:00、プロムナードのにぎわいが最高潮に達する頃、コア・ホールでものど自慢大会が始まった。プロムナードのまつりに客足をとられるのではと心配したと言うが、120ほど用意した席はすぐに埋まり、立ち見も出るほどの人気だった。

出場者は小学生、主婦、会社員、悠々自適のシニアと年齢も職業も様々だ。磯辺からご夫婦で出場した吉野さんは、奥様が「あなたのそばに」を歌った後、ご主人が「妻よ」を歌い結婚38年目という仲の良い夫婦ぶりをアピール。司会の竹山まゆみさん（ベイFM）は「私もあんなすてきなご夫婦を目指したい」。吉野さんは「ベイトウンにはウォーキングサークルで毎週来ています。カラオケにはよく行きますがピアノ伴奏で歌ったのははじめて。感激しました」と語る。最年少の小学校1年生で出場し「黒毛和牛塩タン735円」を歌った土田さんは、「出場は自分で決めました。夢はズバリ「アイドル」です」この日、公民館では「のど自慢」の他に「わくわくお話し」、「輪おどり」、「コアお花の会」、「ロックコンサート」と5つのイベントが午前中から夕方まで開かれた。ベイトウンまつりのにぎわいをコアにもと思っていた連合会伊藤会長の願いは見事に実現したようだ。



コア・ホールのステージ上に揃った19組の出場者。

CORE CALENDAR June 6月のコア

6/11 (土) 寺子屋手芸教室
「わたしが縫った小さい袋」
時間：9:30～11:30
場所：ベイトウン・コア 工芸室

針と糸を使って、小さな布袋をつくります。
募集人数：25人
参加費：150円（材料費）
持ってくるもの：裁縫箱（ハサミ、糸、針）
作品の見本を5月末にコア掲示板に展示します。

6/12 (日) ベイトウンオーケストラ定期演奏会
時間：13:30 開場、14:00 開演
会場：ベイトウン・コア 音楽ホール
入場無料

プログラム
ウェーバー「オベロン」序曲
メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲
シューマン 交響曲第3番「ライン」
指揮 石川智久 Vn独奏 佐々木一成
団員募集のお知らせ
ヴァイオリン、ビオラ、ホルン、トランペット、
トロンボーン、ファゴット
団費：一般¥500/月、高校生以下¥250/月
その他、演奏会費

6/26 (日) 第29回 ファツィオリを弾く会
時間：9:30～11:30
会場：ベイトウン・コア 音楽ホール
申し込み締切日：6月19日（日）
連絡先：阿曾 TEL&FAX 211-0273
ベイトウンの皆様にごコア音楽ホールとファツィオリのピアノを使って頂ける月に一度のチャンスです。どうぞお申し込み下さい。非公開の演奏も受け付けています。

高木竜馬君、コアホールに来演

去る4/25日、旧ソ連ウクライナで行われた「ホロビッツ記念国際ピアノコンクール」で千葉県立葛城中1年生の高木竜馬君が、世界的にも難関とされるジュニア部門（9～14才）で優勝した。その高木竜馬君が9月にベイトウン・コアホールに来演することが決まった。

出演準備を進めているベイトウン文化基金の企画委員会によると、高木君は現在12才。これまでも数々の国内外のコンクールで入賞している期待の新人。アシュケナージ氏（現N響指揮者）の実妹エレナ・アシュケナージ女史に現在も師事している。高木君は9/4（日）には千葉パルルホールで、9/24（土）には新国立劇場でのコンサートも予定している。

コアでの演奏会は9/11の午後2:00開演予定。プログラムなど詳細は追って発表される。

あらためて自治会連合会のことを考えてみよう

ここ幕張ベイタウンは、平成 17 年 3 月で街開き 10 周年を迎え、6,188 戸、17,460 名が暮らす大きな街となった。街開きから 2 年ほど経った 1997 年 6 月に、この街全体を束ねる自治会組織として『ベイタウン自治会連合会』が発足したが、その存在を認識している住民は意外に少ないのではないか。自治会連合会には、最近新たに 21 番街、マリノフォートが参加することになった（グランエクシア、幕張サウスコート、セントラルパークウェストも参加に向け準備中）。一方で、立上げ時からのメンバーであった 3 番街が脱会するという動きも出ている。この機会に、自治会連合会について少し考えてみよう。

まず、自治会連合会は何のためにあり、何をしている組織なのだろうか。自治会連合会のホームページ（<http://www.baytown.ne.jp>）を見ると、

- 『幕張ベイタウン自治会連合会は
- ①環境と人にやさしい街ベイタウン
- ②心ふれあう文化の街ベイタウン
- ③気品ある美しい街ベイタウン

を基本理念とし、

①ベイタウン内各単位自治会相互の連絡、協調の役割をになうこと。

②ベイタウン住民の共通の問題について、協議を行い、解決を図ること。

③このような活動を通じて、ベイタウンの発展に寄与すること。

を活動目的とした自治組織です。』

とある。また、

『活動は八つの常設委員会、三つの特別委員会の活動を通じて行われ、毎月一回の定例会合で、活動内容や実績が審議、報告されます。』とあり、常設 & 特別委員会として、■コミュニティコア研究会■イベント委員会■広報委員会■交通委員会■防災委員会■防犯委員会■エコパークをつくる会■スポーツ委員会■環境美化委員会■菜の花クラブ■グリーンサム、があると記載されている。

最も記憶に新しく、住民の目に触れた活動は、ご存知『ベイタウンまつり』だった。また、最近の活動をベイタウンニュースの掲載記事から拾うと、3 丁目公園管理運営委員会による 3 丁目公園の自主的運営や、交通委員会による交通キャンペーンなどの活動が見えてくる。さらにひもとくと、今やベイタウンの住民に欠くことのできない存在となったベイタウンコアの設立・運営に当ってはコミュニティコア研究会が主体となっていたし、ベイタウンの商業施設のこと、道路のこと、小学校の建築のこと、さらにはベイタウン全体の建築計画のことなど、多くのことに「街の代表」として関わり、今や、街がここまで育ったために、空気や水のように当たり前のものとして皆が享受している多くのことに、自治会連合会が少なからず貢献してきたことが分かる。

そもそも、自治会が何故必要となったかと言えば、各マンション毎に存在する管理組合が、マンションという資産を維持・管理するという限定された目的のためにあり、持ち主

の利益を代表するものであるのに対し、住民どうしの和を図り、地域として協調して、より良く暮らすための自主的活動を進めるため、と言えるだろう。例えば、各マンションの管理組合が、周辺環境に対して意見を個別に出しても、下手をすると住民エゴと受け止められかねないが、自治会として意見を集約すれば、きちんとした対応が期待できる。ベイタウン自治会連合会も、各マンション単位で形成された単位自治会の集合体として組織され、前記のようなベイタウン全体の問題を議論するときの対行政（企業庁、千葉市、警察など）および対地域企業の公式窓口となってきた（「千葉市第 47 地区町内自治会連絡協議会」という千葉市から認定された組織でもある）。

さて、ここまで読んできた読者は、「自治会連合会の存在は分かった。これからもよろしく」と思うかも知れないが、この自治会連合会のこれからの問題がない訳ではない。

ひとつは、組織率の低さだ。発足当初こそ、1 番街から 12 番街の中で、10 の街区が参加してスタートした自治会連合会であるが、その後の街の拡がりに追従して参加街区が増えた訳ではなく、現在では 35 ある街区のうち、14 の街区（パティオス 1、2、4、5、6、8、10、11、12、16、17、21、グランパティオス公園西の街、マリノフォート）しか参加しておらず、当方の集計では、対戸数の組織率は約 35% にしか達していない。また、冒頭に記したように、オリジナルメンバーであった 3 番街が、ここに来てその存在意義、参加の意味に疑問を感じ、敢えて自治会連合会を脱会するという事態も生じている。暮らしている住戸の約三分の一の意見しか反映されていない意見では、本当に住民代表の声と言えるか、疑問が生じる（なお、これまでの活動では、参加街区だけでなく、広く全住民の意見を募り、集約する努力をしてきた）。また、現在、自治会連合会に参加している街区では、各戸から年間 500 円の活動費（拠出金）を募り、市からも各戸当り年間 400 円の助成金を受けており、これを主たる活動資金としている。この資金は各種配布物の印刷費や、交通問題対策費（コーンの購入など）、防災備品購入費などに利用されているが、その恩恵は自治会に参加している人だけでなく、その他の三分の二の人も享受

しているはずで、その不公平性も今後問題となる可能性がある。

ふたつめの問題点は、人材不足だ。これだけ大きな街となったベイタウンのことを考え、全くの手弁当（自治会ならびに自治会連合会役員は無報酬である）で、自主的に活動するには非常に大きなエネルギーを必要とするし、また集中力もそう長くは続かない。組織・活動を活性化し、マンネリを排除するためには常に新しい血（人材）を必要とするが、最近では持ち回りや抽選で選任された役員が多く、「自分達の街のことは、自分達で決める」という自主の気概を持った人が減りつつあるとのことだ。この影響により、一部の人に負荷が集中し、やるべきことができない、という事態も懸念される。古くからある成熟しきった街では、比較的時間の余裕のある一部の住民や商店主などが役員を何年も務め、祭りや夜廻りだけやっていれば良い、という自治会になりがちである。しかし、ここベイタウンはまだまだ若い街であり、特に、今後この街は県（企業庁）から市へ移管されるが、そうすると今までのような「特別扱い（ベイタウンの街灯やゴミ輸送システムなどは、市の基準からは“規格外”。また、路上駐車についても例外措置）」が成り立たなくなる可能性があり、多くの議論を必要とするのに、それを支える人を継続的に輩出できるか、案じられる。

自治会連合会では、今期の活動方針の最優先課題として未加入街区の参加促進を挙げ、参加を検討する街区を支援するための冊子の準備、説明会の開催などを実施しているが、一方ではネットなどでの情報提供をもっと強化して欲しい、という声も聞かれる。また、ベイタウン全体の 25% を占める都市機構（旧公団）・千葉県住宅供給公社の街区では、分譲街区では自治会立上げの母体となっている管理組合が存在しないためか、残念ながら参加がゼロである。

これから大事な「青年期」を迎えるベイタウンを支えるため、より多くの街区の参加、そしてパワフルな人材の登場が望まれる。次の自治会連合会の総会は 6 月 25 日（日）、18 時から、コア講習室で開催される。自治会連合会の会合は、常に全住民に対して門戸が開かれている（ただし、オブザーバーとしての参加であり、議決権はない）。自治会連合会の現状、および今後を憂う人、関心を寄せる人はぜひ参加されたい。

【板東】



最近連合会への加入を決めたマリノフォート。400 戸の大規模番街で意見を集約するのは難しかったが、4 ヶ月以上にわたる議論と全居住者に向けたアンケート調査を行うなどの活動を経て、番街の自治会を結成した。

ちょっといい話（投稿）

昨日（5/22）朝6時ごろ犬の散歩で赤玉・青玉公園のところを通りかかったところ、大量のゴミが散乱しているのを発見。その場ではとても回収できないので、一旦家に帰りゴミ袋などを持って再度公園に行ったところ、私が通りかかったあと集合した少年野球チーム「ベイバスターズ」の子供達がゴミを全て集めてくれていました。まだ指導者の方は来られていなかったで、子供達が自主的に拾い集めたようでした。散らかされたゴミを見たときは、腹立たしかったのですが、その後戻って子供達が集めてくれていたのを見てと

バレーボール部員募集（ゴムバレー & ソフトバレー）

ベイタウンバレーボールクラブでは、ゴムとソフト2種類の柔らかいボールを使ったバレーボールをしています。日頃の運動不足を感じている方・・・、昔、バレーボールをやっていた方・・・、ご一緒にリフレッシュしませんか？老若男女どなたでも興味のある方は一度見学にいらしてください。お待ちしております。

練習時間：

- 1 毎週水曜日午後7:00～9:00（ゴムバレー）
- 2 毎週日曜日午後1:30～4:30（ソフトバレー）

参加は上記1または2のみでも可能です。

練習場所：打瀬小学校アリーナ

連絡先：090-6049-7668

てもいい気分になった次第、怒りと感銘両方を感じた日曜の朝でした。

公園などでは、時々子供達の散らかすゴミに無関心な大人達を見かけますが、他人の散らかしたゴミを誰に言われずとも拾い集めていた子供達。ベイタウンの将来もこのような子供達がいると明るく感じると言うのは少しおおげさでしょうか。



光るどろだんご完成

5月のはじめにコアの近くで子どもルームの子どもたちと先生がしゃがみこんで泥遊びをしているのに出会った。よく見かける子がいたので「何をしているの？」と聞くと、「どろだんご」と教えてくれた。話を聞くと、「光る泥団子」の名人先生に作り方を教えてもらっているのだという。「ホントに光る泥団子ができたらベイタウンニュースに載せてあげ

るよ」というと、「やってみる」とのことだった。

1週間くらいしてルームの前を通りかかったら、早速こちらを見つけて駆け寄ってきた。泥団子ができたのだという。見せてもらおうと、大きさは小さいがちゃんと光っていた。

光る泥団子を作ったのは、打瀬小2年生のレイちゃん。泥団子を教えたルームの井上先生によると、子ども達は飽きっぽくてなかなかつづかないが、泥団子は何度も挑戦して見事光らせたのだという。

レイちゃんに作り方を聞くと、泥粘土をさがしたり、「ふるい」で細かい砂を作ったりと難しい秘伝をいろいろ教えてくれた。今度はもっと大きい泥団子づくりに挑戦するそうだ。



UTASE POOPER SCOOPERS メンバー募集中！

私たちは、毎月第3土曜日に幕張海浜公園に集まり、愛犬と一緒に公園やベイタウン周辺に放置されている犬のウンチを清掃しているボランティアサークルです。愛犬のお散歩をしながら街や公園をきれいにします。普段のお散歩では知り合うことのなかった新しい犬トモと出会えるチャンスでもあります。犬の参加は絶対条件ではありませんので、これから犬を飼いたいとお考えの方や、愛犬がイヌ嫌いという飼い主さんのご参加もお待ちしております。

●日時：毎月第3土曜日午後9:00～10:00

●集合場所：幕張海浜公園花時計前

※雨天中止（中止の場合は当日朝8時半までに、ホームページに中止の旨を掲載）

問合せ先：石田静香 / 田中聡子（マリンプォート）

utasepooperscoopers@yahoo.co.jp

<http://www.geocities.jp/utasepooperscoopers/index.html>

ベイタウン・コア文化基金の使い方

ベイタウン・コア音楽ホール文化振興基金（以下文化基金）はベイタウンの文化事業を支援する目的で創設された住民の公共的財産です。原資はピアノ「ファツィオリ」購入の際の募金の余剰金によっています。基金の管理は住民のなかから選ばれた委員で構成する理事会が行っており、現在残高で80万円ほどの金額があります。

文化基金はどのような文化事業を支援し、今後どのように管理してゆくのが望ましいでしょう。例えば音楽とは直接関係のない事業にも支援はされるのでしょうか。これは文化基金の最も基本的な部分です。理事会では最近になってその議論にひとつの道筋をたてました。

コアの文化基金という以上、コアで行われる文化事業については積極的に支援したいものです。しかし基金にも限度があり、バラまいてはすぐに底をついてしまいます。ピアノの管理やホールの施設をよくするためにも基金は必要です。理事会では、当面の資金管理を「使いながら増やしていく」という方針で運用することにしました。

これについては、先日行われた「鈴木弘尚リサیتال」が分かりやすい例でしょう。この事業は実行委員会形式で行われましたが、文化基金はこのイベントを後援しました。音楽会でも注目度の高い新人ピアニストを招くとあって予算段階では赤字となるリスクも考えられましたが、企画の良さと広報の徹底で200席以上の入場があり、黒字となりました。当然黒字分は文化基金に入れられ、文化基金の残高を増やすことができました。

このような事業を行う場合、「赤字になったら」という不安が主催者には常につきまといます。今回の場合は文化基金が後援することでその不安を取り除くことができ、主催者は実行に踏み出せたといえます。つまり文化基金は実際の出費はありませんでしたが、支援を行い収益も得た形です。

理事会では文化基金をここ数年はこの例のように基金の残高を気にしながら管理しますが、将来的にはベイタウンの様々な文化イベントを支援したいとおもっています。みなさまのご協力をお願いします。

【文化振興基金理事会】

第三小学校横の「打瀬第2緑地」 はこんなふうになります

～住民と子どもたちが出会うスペースに

現在、17・18番街東側でベイタウン3つ目の小学校（仮称）第三小学校の建設が進んでいます（平成18年4月開校予定）。あわせて、校庭を囲む「打瀬第2緑地」も今年、工事着工となります。

打瀬第2緑地の設計にあたっては、昨年11月から企業庁および設計業者を交えた住民協議会で、自治会連合会とベイタウンの緑化に取り組んでいるグリーンサムが「住民」の立場から意見を述べてきた経緯があります。当初示された設計図では、防球対策をかねた高めの芝のマウンドと樹木を配した、全体として打瀬第1緑地（打瀬小横）のイメージに近い緑地でした。これに対して、「グリーンサム」は、街路樹調査や植樹実験の観察結果をふまえ、建設場所が海からの風の通り道であり、防風を考えた植栽の必要性や樹種の選択・植え方の工夫の必要性などを指摘しました。また、既存の公園のマウンドの客土が流れ出している現状、高いマウンドにより死角ができる防犯上の問題、子どもルーム近くは芝よりも草地など自然な感じがよいのではといった意見を出しました。

とくに、小学校や子どもルームに隣接していることから子どもたちが緑に親しめる緑地

のあり方、一般の住民が日常楽しめる場所としての可能性を今後の設計に求めました。

こうした意見を受けて、4月に次のような「基本設計」が完成しました。

- ・小学校グラウンドと周辺住宅との「緩衝帯」とする
- ・できるだけおおらかなデザインをめざす
- ・マウンドからの土砂流出に配慮した構造とする
- ・生育環境に配慮した樹種を選定し、季節感を感じる植栽とする
- ・メッセ大通り側に防風ネットを設置
- ・住民が将来手入れすることも考慮し、子どもルーム側に植樹もできるよう客土を厚め（50

センチ）にした場所（6m×6m）を設置
・運動会の観覧、グラウンド活動を支援する場を設置。子どもルーム側は芝生の小広場を確保。

下の完成予想図からは、学校帰りの子どもたちが道草を楽しみ、住民が季節感を感じながら散策する姿が浮かんできます。花や木の世話をする住民が子どもたちと話を交わしたり一緒に作業する機会もあるかもしれません。木々の緑が優しく縁取る緑地の存在は第三小の魅力となると今から楽しみです。【佐藤】
■緑地の詳細はベイタウンコアのアトリウムに掲示しています。興味のある方はご覧ください。



キッズプロジェクト'05を追う②

指導スタッフ紹介

キッズプロジェクト（以下キッズ）は毎回多くのスタッフに支えられている。今回はますます熱の入る指導スタッフに焦点を当てて取材した。

【隅山】

田島純子（ダンス振付・演技指導・総合演出）：

今回から本格的にキッズに参加している。専門はジャズダンス・クラシックバレエ。「アロックダンスカンパニー」で2度NY公演をし、劇団飛行船に出演。数々の劇団の振付を手がけてきた実力者で、先日市民会館大ホールで行われたダンススケッチの発表会では圧倒的な演出力を見せつけた。子供たちが彼女の手によってどう変わっていくのか、楽しみだ。

森本真由美（プロデューサー・合唱と演技指導）：音楽科卒のピアノ講師でミュージカル指導経験も。子供時代から歌い続けてきた根っからの合唱好きで今はジュニアコーラス指導に夢中という。「キッズでは音楽やダンスを通じて自分を表現する楽しさを知ってもらいたい」と語る。その優しさとパワーに子供たちは引き付けられている。

安永珠弓（一般公募チームの演奏指導チーフ）：ピアノ科卒。ピアノ以外子どもの指導経験はないというが、子供たちの前で全身

を使い興味・関心を引き付ける力量は図抜けている。指導が非常に難しい一般公募チームは彼女なくしては成り立たない。

則松千穂（ダンス振付）：学生時代にはバトントワリングで活躍したほか輝かしい実績があるらしいがそれを明かさない。フェアリーズでの振付を担当してきたが、お嬢さんの亜海さんも過去2回のキッズに見事な新体操やバレエで出演しているダンス母娘だ。田島先生とは違った味の振付が楽しみだ。

永木真紀（合唱伴奏）：ピアノ科卒のピアノ講師・ピアニストで、伴奏に定評があり、ベイタウン内でも多くの合唱団の伴奏を手がけており、音楽イベントでもおなじみだ。

庄司章代（一般公募チームの演奏指導・音楽制作チーフ）：今回はPCを駆使しての音楽制作を行っている。ピアノ科卒でピアノ講師のほかピアニストとしても活躍し、これまで

キッズ、UTASE ドロップスを指導してきた、頼もしい指導者である。

笹本桂子（一般公募チームの演奏指導）：専門はピアノでピアノ講師のほか、庄司先生と共に UTASE ドロップスを指導している。キーボード演奏の名手でもある。

笹本将弘（一般公募チームの演奏指導）：笹本桂子先生の息子さんと、前回のキッズから一般公募チームに演奏と指導で参加している。子供たちに近い視点での指導が持ち味。安永先生が厚い信頼をおく、20歳の若きエースだ。

杉谷直子（一般公募チームの演奏指導・演技指導補助）：元中学校音楽科教員で音楽全般を専門とする。演奏でも二人のお子さんと共にキッズに第1回から参加している音楽一家だ。



New 3

The new
BMW 3 Series

320i
325i
330i



駆けぬける歓び



遂にデビューしたニューBMW 3シリーズ。 そのダイナミズムを、いち早くご試乗で。

より精悍さを増したスタイルに秘めた、革新テクノロジーの数々。無類のパワフルさとスムーズさを併せ持つダイナミックな走り。そして、この上ない快適性と安全性。すべてを一新して待望のデビューを果たした、ニューBMW 3シリーズ。スポーツ・セダンの新たなクラス指標となるこの最新モデルを、いち早くご試乗でお確かめください。ぜひお気軽に、お近くのモーターレン千葉ショールームへ。

New 320i 6AT 4ドア 右ハンドル 3,990,000円 (消費税抜きメーカー希望小売価格3,800,000円) New 325i 6AT 4ドア 右/左ハンドル 5,250,000円 (消費税抜きメーカー希望小売価格5,000,000円)
New 320i 6MT 4ドア 右ハンドル 3,885,000円 (消費税抜きメーカー希望小売価格3,700,000円) New 330i 6AT 4ドア 右/左ハンドル 6,250,000円 (消費税抜きメーカー希望小売価格5,952,381円)

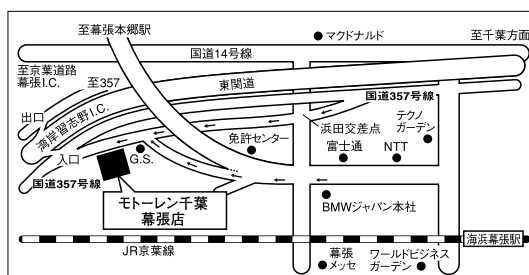
※リサイクル料金は価格には含まれておりません。別途必要となります。 ※表示の価格は、税金(消費税を除く)、保険料、登録の諸費用、付属品価格等を含まない2005年6月現在のメーカー希望小売価格/参考価格です。販売価格はBMWディーラーで各自定めておりますのでお問い合わせください。※写真の車はニュー320i。ボディカラーはスパークリング・グラフィート。一部日本仕様と異なり、またオプション装備を含みます。

BMW Japan 正規ディーラー

株式会社モーターレン千葉

<http://www.motoren-chiba.com>

ホームページからも、BMWに関する資料のご請求やご試乗のお申し込みを承っております。ぜひご覧ください。



幕張店

〒261-0025 千葉市美浜区浜田2-13
TEL. (043) 272-7000